

医療専門職(メディカルスタッフ)のはてな??

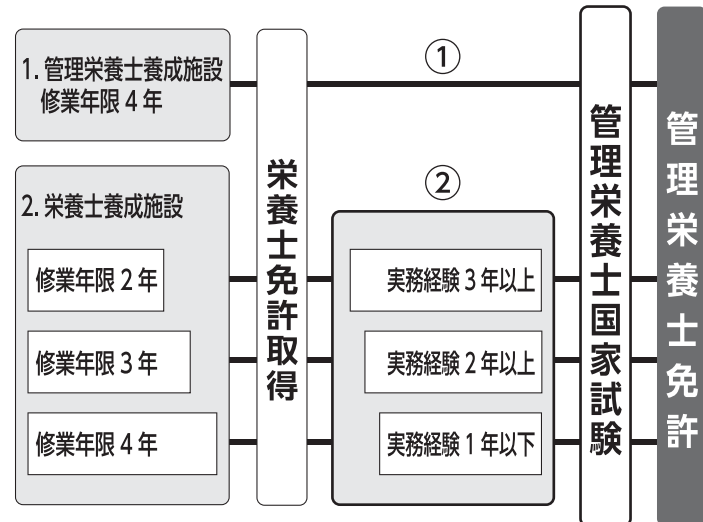
第7回 管理栄養士編

■管理栄養士とは?

栄養士法により、以下のように定められています。傷病者に対する療養のための必要な栄養の指導、個人の身体の状態、栄養状態等に応じた高度の専門的知識および技術を要する健康の保持増進のための栄養の指導、特定多数人に対して継続的に食事を提供する施設における身体状況、栄養状態、利用の状況等に応じた特別の配慮を必要とする給食管理およびこれらの施設に対する栄養改善上必要な指導を行うことを業とする者です。

■管理栄養士になるには?

管理栄養士の免許は、栄養士の免許を有する者が、管理栄養士国家試験を受けて取得します。



上記の図のように管理栄養士の免許は、①管理栄養士養成施設を卒業し、栄養士の免許を取得②栄養士の免許を取得し、栄養士として規定年数以上実務経験を積む、の方法により管理栄養士国家試験の受験資格を得ることができます。

■活躍の場は?

病院や福祉施設、教育機関、保健所や保健センター、行政、食品会社、スポーツ業界、研究等、多岐に渡ります。

■福島病院の管理栄養士の仕事は?

大きく分けて、給食管理業務と栄養管理業務の二つがあります。

【給食管理業務】

●衛生管理

食事を安心、安全に召し上がって頂くために日々、食材発注から保存、調理、加工段階まで注意を払っています。

●献立作成・発注業務

管理栄養士は疾病治療の根幹である食事の献立を患者さんの病状に合わせて作成し、食材を発注しています。また、アレルギーをお持ちの方や食欲が低下している方、食事形態の調整が必要な方々のために個別の献立作成を行う、個人対応も行っています。また、月1回程度はメッセージカードを添えて、季節感を感じられる行事食を提供しています。

●食数管理業務

病院では、日々患者さんの入退院があり毎日提供する食数、食種が変わります。そのため、適切な食数管理を行うことにより過不足なく食事提供が出来るように努めています。

【栄養管理業務】

●栄養評価

食事の摂取量が少ない方、噛む力が弱い方、骨格筋量が減少している方、床ずれになりそうな方を早期に発見するために、全ての入院患者さんに対して入院時に栄養状態の確認を行っています。

●栄養管理計画書の作成

入院診療計画において、特別な栄養管理の必要性が認められた患者さんに栄養管理計画書を作成しています。栄養状態の評価と課題、栄養管理の目標、栄養補給方法等を記入し、入院中の栄養管理を行っています。

●栄養相談

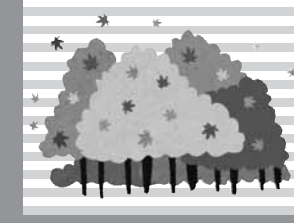
入院・外来患者さんを対象に糖尿病・腎臓病・高脂血症などの治療を受けられている管理栄養士が医師の指示に基づき栄養相談を実施しています。患者さん個人の食生活や嗜好、食事への思いなども伺いながら長期的に実践可能な方法を提案させていただいています。

■最後に

食事(栄養)は、疾病の治療に直接影響はしませんが、治療効果を向上させるには、全身状態が良好であることが極めて重要です。全身状態を良好に保つには、“栄養”がとても大切です。私たち管理栄養士は、患者さんの治療の根幹を担う栄養管理を誇りをもってまいります。



FUKUSHIMA INFORMATION 2015 AUTUMN



福島インフォメーション

地域に密着した良心的な医療を提供する事を使命としています。

発行 医療法人永寿会 福島病院
〒335-0012 大崎市旭区千林2-4-22
TEL.06-6953-2940(代)
FAX.06-6953-2918
ホームページアドレス:
http://www.fukushima-hosp.or.jp
発行日/平成27年 11月

理念

24時間いつでも誰でも気軽に利用できる、
地域に密着した皆様病院をめざします。

基本方針

正確な診断に基づいて最適な医療機関での治療をめざします。

幅広い患者のニーズに細かく対応して、

患者だけでなく従業員自身も安心して知人や身内を紹介できる病院をめざします。

焼き立てパンはじめました

平成27年10月より入院患者の皆さまに香ばしいパンの香りをお届けしたく、
炊き立てパンの朝食をはじめました。
栄養科一同、心を込めて焼いています。



10月の焼き立てパン

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

【広報係より】

本年より小田知文先生が着任され、リフレッシュなパワーで頑張っていたいております。今回は小田先生のインタビューもありますのでご期待下さい。またホームページもリニューアルいたしました。是非ご覧ください。

診療科目:

外科・消化器外科・肛門外科・整形外科・
内科・糖尿病内科・消化器内科・
脳神経内科・人工透析内科・
リハビリテーション科・
放射線科・
麻酔科

当院の診療科目です。



福島病院 各部署紹介

～愛すべき職場～4階病棟編

今回の愛すべき職場は『4階病棟』をご紹介します。

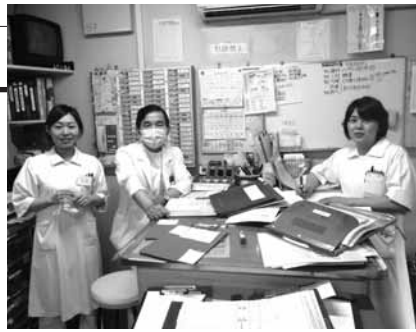
昨年の10月から、4階病棟に「地域包括ケア病棟」という特殊なお部屋ができました。「地域包括ケア病棟」とは急性期治療を経過し病状が安定した患者さんに対し、在宅や介護施設への復帰支援に向け医療や支援を行う病棟です。

ADL(日常生活動作)の活動力を上げることを目標に、リハビリテーションを行っています。ちなみにADLとは、食事や排泄、移動や入浴などの基本的な動作のことです。

在宅での療養に不安があり、もう少しの入院治療で社会復帰できる患者さんが、安心して退院していただけるよう医師や看護師、リハビリテーション科のスタッフにより治療・支援を行っています。

また医療ソーシャルワーカーが患者さんの退院支援、退院後のケアについてサポートさせていただいております。

もちろん、4階病棟は、地域包括ケア病棟のお部屋だけでなく、一般のお部屋もあります。4階スタッフ一同、患者さんが安心して入院生活が送れるように、また元気に笑顔で退院していただけるよう心掛けています。



新入職員紹介

- | | | |
|--------------|---------------|-----------------------|
| ■小田 知文(医師) | ■久田 友喜(看護師) | ■泉 美津子(調理師) |
| ■江頭 摩佐子(看護師) | ■森島 陽香(理学療法士) | ■豊永 莉菜(病棟クラーク) |
| ■喜屋武 琴音(看護師) | ■山本 真莉(理学療法士) | ■木村 英梨加(診療補助) |
| ■葛島 茜(看護師) | ■尾崎 浩二(理学療法士) | |
| ■田中 智子(看護師) | ■中村 美穂子(調理師) | (平成26年10月～平成27年9月入職者) |



新卒職員紹介

新しく入職しました。
一生懸命頑張りますので
宜しくお願いします。

山本真莉

(ヤマモト マリ)
<理学療法士>
大阪保健医療大学卒業
◆大阪府出身
未熟者ですが、少しでも早く
信頼されるよう、笑顔で楽しく
頑張りたいと思います。



田中智子

(タナカ トモコ)
<看護師>
大阪府病院協会看護専門学校卒業
◆長崎県出身
笑顔を絶やさず、一生懸命
頑張ります。
よろしくお願いします。



喜屋武琴音

(キヤン コトネ)
<看護師>
行岡医学技術専門学校卒業
◆沖縄県出身
日々勉強だと思ひ、一生懸命
頑張ります。



葛島茜

(クズシマ アカネ)
<看護師>
大阪府病院協会看護専門学校卒業
◆長崎県出身
まだ、未熟ですが、頑張りますので、これからよろしく
お願いします。



久田友喜

(ヒサタ ユウキ)
<看護師>
行岡医学技術専門学校卒業
◆長崎県出身
一生懸命頑張っていきたい
と思っていますので、これから
もよろしくをお願いします。



10年勤続にあたり

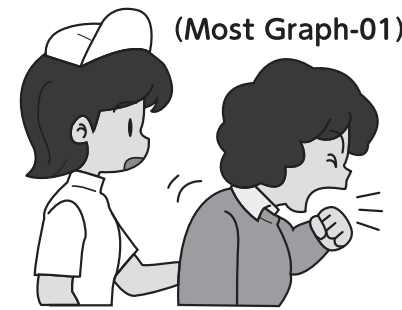


リハビリテーション科
責任者・理学療法士

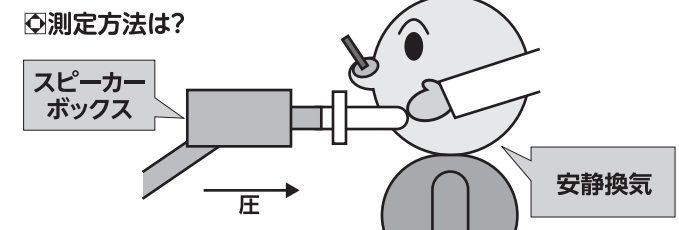
奥田尚生

福島病院に勤続して、早10年が過ぎました。
私が学生の頃から数えると、約14年間もお世話になっています。その間に、色々な出来事がありました。
理学療法士の免許を取得したこと、リハビリテーション室の改装、結婚し、4人の子持ちになったこと、網膜剥離とその手術など、この病院で数えきれないくらい、多くの経験を積むことができたと思います。
ここまで頑張ってきたのも、たくさんの方々に出会い、その方々に支えて頂いたからだと思います。
常に感謝の気持ちを忘れずに理学療法士として、一人の人間として、これからも成長し、少しでも恩返しができるように、頑張りたいと思います。

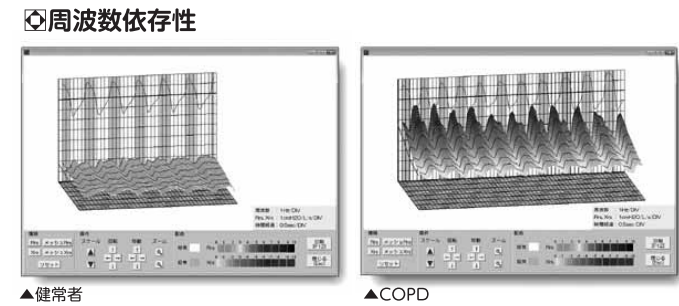
呼吸抵抗検査について



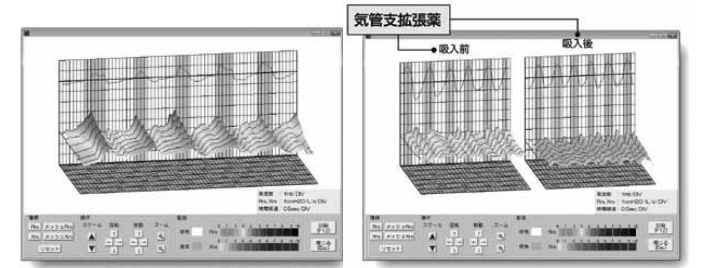
どんな検査ですか?
喘息やCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の診断、薬の効果の判定に有用です。また風邪などで長期に続く方の中には、気管支喘息や咳喘息の方も多く、これらの病気の診断にも有用です。
結果は3D カラーグラフィックにて表示され、大変分かりやすくなっています。



従来の肺機能検査のように、強制的に大きく吸ったり吐いたり、強く吐いたりする必要がなく、マウスピースをくわえた状態で通常の呼吸を行うだけ呼吸抵抗測定3D カラーグラフィック表示を実現で検査します。
また、計測時間も1回数十秒程度なので、子供さんや高齢者の方には負担の少ない検査です。

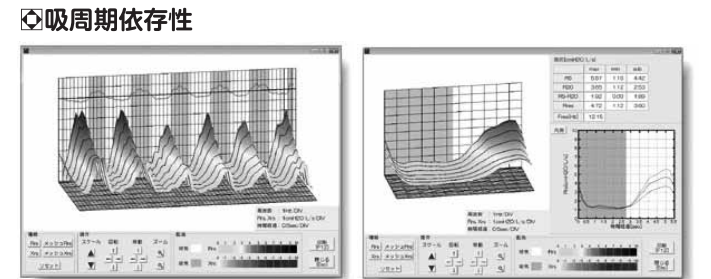


▲健康者 ▲COPD



健康者では、呼吸抵抗測定の際に用いるオシレーション波(単一正弦波)の周波数を変えても、呼吸抵抗値はあまり変化しません。ところが慢性閉塞性肺疾患患者で測定した場合には、呼吸抵抗が高くなっていく現象がみられます。これを MostGraph では複数の周波数成分からなるパルス波、雑音波を用いてリアルタイムでこの周波数依存性を測定しています。周波数依存性の原因となるメカニズムには、肺の粘弾の変化や器械特性の不均等などの要素が知られています。COPD では、呼吸細気管支を中心とする末梢気道の抵抗上昇や易虚脱性、それらによる不均等分布が周波数依存を起こしています。

また喘息や肺線維症などの他の呼吸器疾患でも見ることができ、COPD と同様に周波数依存性を評価できますが、さらに MostGraph で判明する呼吸の周期依存のファクターと合わせることで、新しい視点による呼吸器病態の診断の可能性を有しています。



▲図A ▲図B

図Aは本装置で計測されるCOPD患者の抵抗の時間経過の一例であり、図B平均的な呼吸1周期分の経過を示したものです。吸気と呼気で周期的に変化する状態(ここでは「呼吸周期依存」と呼びます)の3D画像による可視化であり、本装置がもつ大きな能力の一つです。

検査に関しましては主治医とご相談ください。 臨床検査科



福島病院秋の広報誌(fukushimaインフォメーション)は本年より常勤医として勤務されています小田先生の特集を企画いたしました。
小田先生の全てが判るインタビューです。皆様ご覧ください!

- 問1:お名前と年齢、出身地をお知らせください。
小田知文(おだ ともふみ)、出身は愛媛県です。
- 問2:ご家族は?趣味は?また休日はどのように過ごされていますか?
5人家族、子供は3人です。趣味はゴルフ、ジョギングなど体を動かすことです。休日は自宅でゆっくりすることが多いです。

- 問3:先生の出身大学及び専門分野を教えてください。
兵庫医科大学出身です。呼吸器外科専門医、がん治療認定医ですが、呼吸器一般を中心に診療しています。
- 問4:福島病院の印象は?また福島病院の諸先生方の印象は?(院長先生を含めて)
職員の皆さんはとても明るく、アットホームな感じで働きやすいです。食事(患者さんの食事とほとんど同じメニュー)も美味しく健康的な昼食を毎日いただいています。諸先生方みなさん明るく、優しく指導していただいています。
- 問5:福島病院で、今後やっていきたいことは何ですか?
慢性閉塞性肺疾患(COPD)に対する禁煙指導や、糖尿病・高血圧・高脂血症など生活習慣病に対する介入(患者教育)に力を入れていきたいです。
- 問6:最後に患者さんに猛烈なメッセージ(アピール)をお願いします。
福島病院ではまだまだ若輩ですが、入院された患者さんが笑顔で退院できるように一生懸命診療に励みたいと思います。
お忙しいところありがとうございました。